

医療事故情報収集等事業 第32回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成24年10月～12月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成24年			合計
		10月	11月	12月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	216	225	266	707
	報告医療 機関数	163			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	46	18	24	88
	報告医療 機関数	44			
報告義務対象医 療機関数		273	273	273	-
参加登録申請医 療機関数		640	642	653	-

第32回報告書39～42頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成24年10月～12月	
	件数	%
薬剤	62	8.8
輸血	3	0.4
治療・処置	198	28.0
医療機器等	27	3.8
ドレーン、チューブ	46	6.5
検査	41	5.8
療養上の世話	258	36.5
その他	72	10.2
合計	707	100.0

第32回報告書48頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成24年10月～12月に発生した事例)

1) 参加医療機関数 1,092 (事例情報報告医療機関数 597施設を含む)

2) 報告件数 (第32回報告書64～70頁参照)

①発生件数情報報告件数：174,244件 (報告医療機関数 483施設)

②事例情報報告件数：6,966件 (報告医療機関数 80施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- | | |
|--|----------------------|
| (1) MRI検査に関連した医療事故 | 【第32回報告書 92～116頁参照】 |
| (2) 血液凝固阻止剤、抗血小板剤投与下 (開始、継続、中止、再開等) での観血的医療行為に関連した医療事故 | 【第32回報告書 117～135頁参照】 |
| (3) 脳脊髄液ドレナージ回路を一時的に閉鎖 (クランプ) したが、適切に開放されなかった事例 | 【第32回報告書 136～147頁参照】 |
| (4) 院内において加工し使用した医療材料や医療機器に関連した医療事故 | 【第32回報告書 148～154頁参照】 |

3. 再発・類似事例の発生状況 (第32回報告書155～166頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- | | | |
|------------------|----------------|----------------------|
| (1) 「清拭タオルによる熱傷」 | (医療安全情報No. 46) | 【第32回報告書 158～160頁参照】 |
| (2) 「併用禁忌の薬剤の投与」 | (医療安全情報No. 61) | 【第32回報告書 161～166頁参照】 |

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。